

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援Uo-Sao'			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3家庭(4名)	(回答者数)	1家庭
○従業者評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 4日		～	2025年 3月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4名	(回答数)	0名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害児支援に経験豊富な職員がいる。	保護者の思いや訪問先施設の困りごとを丁寧にアセスメントし、個別支援計画の作成につなげている。	ケース検討会等を行い、支援の充実を図る。
2	お子様の適応状況を確認しながら支援を行っている。	学校等での様子をよく観察し、実施可能な支援方法を提案している。	お子様の変化に合わせてアセスメントを随時行っていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望者の方の全てのご希望に沿う形での訪問支援の実施が難しいことがある。	訪問支援者の人員不足が考えられる。	既存の職員に訪問支援者に必要な知識やスキルを提供し、質の高い支援をできる人材を育成する。
2	利用開始までに時間を要する場合がある。	利用までのアセスメントや手続きに要する時間が多く必要となる事が考えられる。	スケジュール管理を工夫し、保護者や関係機関との連携をスムーズに行えるよう努める。